

『HFA スポーツクラブプロジェクト』講習会 兵庫サッカーデー2009事業

ポット苗による芝生化講座

日時： 10月11日（日） 10:00～12:00

会場： ホームズスタジアム神戸 研修室

参加人数： 32名

講師： 中野 淳一氏（鳥取大学農学部教授）

前田 真吾氏（HFAスポーツクラブプロジェクト）

協力： JFA 公認芝生インストラクター： 神田 真氏・坂本 忠志氏

東興産業株式会社（芝刈り機）： 勝又 正成氏

司会進行：清水 秀樹（HFAスポーツクラブプロジェクト）



合言葉は……

「芝生でつながる心とこころ」

兵庫サッカーデー2009の企画として、今年は『ポット苗による芝生化講座』が開催されました。内容として、ポット苗とは？メリットは？日数、費用、メンテナンス等の現場で芝生化計画を実行する為に必要な事を実際に JFA グリーンプロジェクトに関わり、その企画を実行されている方に直接講義をしていただき、集まっていた様々な現場の方、様々な理由で芝生化に興味を持たれている方々へ実技を交えた講義を行なう事で兵庫県下に緑のじゅうたんを広げていこうという兵庫県サッカー協会からの願いを込めた企画となりました。



挨拶が、兵庫県サッカー協会専務理事の高見 豊氏と HFA スポーツクラブプロジェクトリーダーの加藤 寛氏によって行われました！

当日の講義は、最初に兵庫県サッカー協会専務理事である高見 豊氏による挨拶に始まり、HFA スポーツクラブプロジェクト

リーダーの加藤 寛氏の挨拶と講師の紹介により始まりました。



中野 淳一氏

鳥取大学農学部教授
JFA グリーンプロジェクト

講師は、鳥取大学農学部教授であり、JFA グリーンプロジェクトに関わっておられる中野 淳一氏によるものでした。

内容は、最初に芝生と言われるものの中でもいろいろ種類があり、その種類と用途などについての説明がありました。そしてサッカーグラウンドに適している芝生という事で『バミューダグラス』と言われる芝生のメリットについて話していただきました。芝生を生成する為に必要な事は、苗に対して十分な水分と肥料を与える事、そして生育していく中での芝刈りというのが大きな作業になります。『その作業コストや費用は一体どれぐらいかかるものなのか?』という疑問に対しても具体的な数字を含めて説明をしていただきました。ここ数年で芝生化計画はどんどん推進され、平成21年度に入ってからすでに全国で419箇所もの芝生化が実施されています。

その芝生化の作業は『ポット苗』によるもので、小さな苗を50cm 間隔で植えていき、子供からお年寄りまで誰でも簡単に出来る作業である事、そして成育が早い事、コストが少ない事などの多くのメリットがある事を実際の話を変えて紹介していただきました。参加人数、芝生化する場所の広さなどにより多少時間に差はあるとしてもみんなが思っているような時間と経費が必要ない事が講義の中心となりました。

従来は芝生化にしても一人当たりの面積不足であったり、管理体制の不備によって芝生がすぐに痛んでしまったり、維持する為に多くのコストが必要。

↓ポット苗移植法になると

生長が早く、確実に根付く事で広さの確保がしっかりと出来る事、植え付けの作業も簡単で手軽に出来るようになった事で従来の問題をクリアする事が出来る。

実際に行なわれた場所を例にした作業順序と時間は・・・

①ポット苗の育成 (点)→ 1ヶ月

②ポット苗の移植・被覆 (面)→ 3ヶ月

例)500m² を子供200人と保護者200人で作業すれば1時間かからずに出来る

③施肥・水やりによる肥培 (層)→ 3年

グラウンドを芝生化した場合の年間維持費として芝刈り機の刃、燃料、スプリンクラーによる水撒き(晴れた日は1日2回30分程度)、肥料(3週間に一回)→1m² につき6gで肥料は20kgで2,000円で計算でき、**年間で10万円ぐらい**で維持出来るという事でコスト面でもかなり抑える事が出来る。

中野氏は、全国で『鳥取方式』という芝生生成を行なわれており、実際の現場での経験からの講義は興味を持って集まった今回の参加者にもおおいに参考となりました。この講義を聴かれた方々を中心にこの兵庫県下にも多く広がるようにしたいものです。



実際に今年生成された「ポット苗」です！！

前田 真吾氏に提供いただきました。

続いて、HFAスポーツクラブプロジェクトの前田 真吾氏による実際に今年、姫路の形に於いて芝生化された経験と体験を基にその成果の大きさを聞かせていただきました。



芝生化を自分達の手で行なえた事を本当に良かったと体験談を語ってくださった前田氏

今年は姫路の NPO 法人エストレラ姫路のサッカーチームの選手とその保護者達で作業を行いました。苗を植える作業から全て自分達で行なった事で苦労もあったけれど、それによって地域のつながりや感謝の気持ち、大事にする心を多くの選手が持つようになったとグラウンドというハード面の成果だけでなく「心」というソフト面での成果もかなり大きかったという事です。自分達のグラウンドという誇りと自覚が各自に芽生えた事が何よりも大きな収穫になったという前田氏。やって良かったと心から思えたというその気持ちが講義を受けた人全ての耳と心にも強く残ったようです。



実際に手に触って説明を受けた参加者の皆さんです！

前田氏がこの芝生化実行により学んだ成果として挙げられたのが……

- ① 体に優しい
- ② チャレンジ精神が育つ(思い切りが良くなる)
- ③ 地域の協力体制が深まる

- ④ 子供に感謝の念が育つ
- ⑤ 温かい世代の循環が促進される
という事でした。



東興産業(株)のご協力で、芝刈り機の
展示も行なわれました。

未来へ繋ごう!!!!

芝生戦隊

『シバレンジャー』(笑)

今回のこの企画は、日本サッカー協会が推進しているグリーンプロジェクトに賛同して行なわれたものですが、実際に体験をされた方の話を聞く事で、そのプロジェクトが単にグラウンドが良くなるという事だけでなく、人や地域をつなぎ、外で遊ぶ子供が増え、環境にも優しいという『芝生でつながる心とところ』というスローガンがまさしくその通りであると実感出来ました。

参加された方々の中にも、今回の企画をきっかけに芝生化計画を実行される方も出るのではないかと思いますし、兵庫県内にもどんと広まる事が期待されます。子供が安心して遊べる場所、思い切って挑戦出来る場所、そういう『未来へつなぐ役割』を私達は担うべきではないでしょうか!!

(記録担当:祐尾昌和)